

「主な活動（概要）」（高等学校）

【学校名】北海道北見工業高等学校
【活動の名称】 北エフェスティバルの実施
【活用した資源】地域住民、地域の商用施設
【対象学年と活動の時期】 全学年から各学科の代表生徒 10月中旬

（項目ウ—観点③環境づくり）

【活動の概要】
 ・各専門学科の代表生徒が、地域住民にもものづくり体験イベントを通して、日頃の教育活動の成果を発表したり交流したりする。

【ねらい】
 ・自分に与えられた役割を果たしたり、仲間と協力して取り組んだりすることにより、自分にもできることがあることに気付くことで、自己有用感を育んだり仲間意識を高めたりする。
 ・地域や学校に貢献する活動を通じて、自己の役割を自覚させ、友達を信頼し支え合おうとする人間関係を形成する。

【活動の流れ】
 ①学校アピールのために各学科から、参加生徒を募集する。
 ②各学科でものづくり体験ブースの内容を話し合って決める。
 ③教員とともに、試作や準備を進める。
 ④フェスティバルの事前指導として、学校と地域をつなげる大事な役割をもっていることや、期待されていることを理解させる。
 ⑤地域の商業施設で、特に子どもを中心とした地域の方々とフェスティバルを行い、ものづくり体験の説明をする。
 ⑥フェスティバル終了後に振り返りを行い、次年度に生かす。
 ⑦北エフェスティバルの雰囲気や校内に取り込んでいく。

各学科の様子がよく分かるよう、趣向を凝らしたブースを開設しました！

○北エフェスティバルに参加した生徒の感想

- ・フェスティバルを通して先生達との距離が近くなり、話しやすくなった。
- ・フェスティバル前と比べ、先生達から認められるようになった。
- ・これまで話したことがない他の学科の人たちと、一緒にフェスティバルを運営したことで、それぞれの活動を知る機会になった。
- ・地域の方々に、自分たちの様子が伝わり楽しかった。



<ものづくり体験ブースの様子>

○来場者アンケートの結果

（来場者 約600名）

- ・生徒が優しく親切で、子どもが楽しんで工作できました。
- ・これからも頑張って下さい。子どもが、すごく喜んでいました。
- ・生徒と、一般の方とのふれあいが大変良かったと思います。
- ・高校の生徒さんや先生とお話できて、学校のことが少し知ることができてよかったです。
- ・生徒さん、頑張っていてステキだなと思いました。頑張って下さいね！
- ・高校生が頑張っていてさわやかでした。ありがとうございます。
- ・これからも地域の中での活動をお願いします。



<北エフェスティバル会場の様子>

【いじめの未然防止に関わる本活動のメリット】
 ・生徒と教員の一体感ができ、その後の教育活動が活発になった。
 ・行事で生徒同士が協力する場面が増えた。
 ・日頃の教育活動の意義を理解し、意欲的に学習に取り組む生徒が増えた。
 ・生徒と教員の距離が近くなり、相談できる雰囲気ができた。
 ・学校代表としての意識を持ち、リーダーシップを発揮するようになった。

- 地域住民に対し日頃の学習成果を発表する活動を通して、生徒が自分の役割を理解したり、自分にできることを考えたりすることにより、自己有用感を育むことができています。
- 地域の人々から肯定的に評価される場面を位置付けたことにより、生徒の自己肯定感を育むことができています。



「主な活動（概要）」（高等学校）

【学校名】北海道新得高等学校				
【活動の名称】 ネットマナー教室				
【活用した資源】講師として地域企業				
【対象学年と活動の時期】全校生徒 4月10日				

(項目エー観点①居場所づくり)

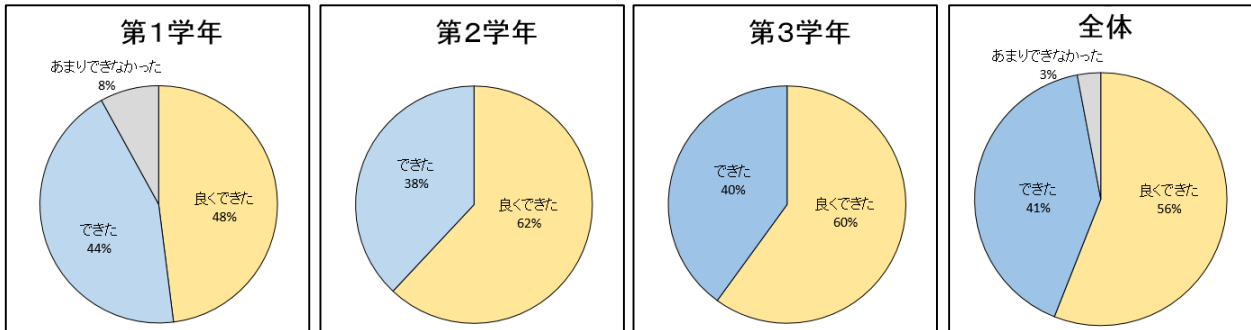
【活動の概要】
・ネットマナーに関わる講話に参加する。

【ねらい】
・スマートフォンや携帯型電子機器によるインターネットの利用についてのルールやマナーについての理解を深める。
・トラブルの防止と望ましい人間関係の構築のため、スマートフォン等の適切な使い方を学ぶ。

【活動の流れ】
①講師の選定及び依頼
②講話の実施
③講話後のアンケート実施

・アンケート結果
望ましいコミュニケーションのあり方については、ほとんどの生徒が理解できていた。

講演内容の概略
・スマートフォンで撮影した画像からの居場所特定の実演
・ネットトラブル（炎上、個人情報の流失、不適切な表現）の事例の報道記事をあげて、問題点、未然予防などの説明



～生徒の声より～

SNSの発信は1度してしまうと、2度と消えないので使い方を心掛けていきたい。

GPS機能で写真から撮影の場所が特定されることを知った。用心をして使っていきたい。

軽い気持ちで書き込んだ内容が何年も残って、それによって自分の人生が左右されることもあることが分かり、とても怖いと感じた。

講師の方が、その場で写真を撮影し、その写真に位置情報が記録されているのを見せてくれました。意識していないところで、個人情報が漏洩することを生徒は強く実感しました。



〈ネットマナー教室の様子〉

【いじめの未然防止に関わる本活動のメリット】
・ルールやマナーの理解が深まり、互いに気を付けようとする意識が高まった。
・携帯電話等に関わるトラブルが無くなった。

- スマートフォンや携帯型電子機器によるコミュニケーションについて理解を深めることにより、ネットワーク利用に関わるトラブルを未然に防止することにつながっています。
- 地域企業の方を講師として招聘することで、生徒にとってより専門的な内容について学ぶ機会となっています。



「主な活動（概要）」（高等学校）

【学校名】北海道新得高等学校
【活動の名称】 コミュニケーションスキル・トレーニング
【活用した資源】新得町子ども発達支援センター
【対象学年と活動の時期】 第1学年 4月22日、23日（宿泊研修時）

（項目エー観点②絆づくり）

【活動の概要】
傾聴トレーニング、アサーショントレーニング

【ねらい】

- ・人間関係を円滑に築くためのコミュニケーション能力を育成する。
- ・入学後、間もない生徒同士の交流を図ることができるようにする。
- ・自己決定の経験の少ない生徒が、高校生として主体的にコミュニケーションを図ることができるようにする。

【活動の流れ】

トレーニング①

- ・導入
アイスブレイク「バースデーリング」
- ・展開
講義「コミュニケーションとは」
トレーニング「傾聴トレーニング」
- ・終末
まとめを聞く

トレーニング①資料

コミュニケーションとは

- 言葉や言葉以外の身振りや表情を使って発信すること
→（相手に、情報や考えを伝える。合わせて、感情も伝わる。）

+

- 言葉や言葉以外の身振りや表情を使って応答（反応）すること
→（相手から伝わったことから、情報や考えを伝える。合わせて、感情も伝わる。）

上手な聴き方！

☆ 上手に聴く力（FELOR）

E（FACE）： 顔を向ける（相手の顔や表情をしっかりと見る）
→ 「きちんと向き合う」ことが相手に信頼感や安心感を与えることになる。
手を伸ばすと触れるぐらいの間合い

E（EYE CONTACT）： 視線（相手の目線を穏やかに見守る）
→ 「私はあなたのことがとても気にかけています」という心を目で伝える。
温かい眼差しで・・・

L（LEAN）： 身体を傾ける（少し身を乗り出すように聞く）
→ 「相手の話を一生懸命聴いている」ことを示すことになる。うなずき「うん、うん」、あいずち「そうなんだね」・・・

O（OPEN）： 身体を開く（胸を開き、心を開いた姿勢）
→ このことは「相手をオープンに受け入れていること」を相手に示すことになる。
なんでもOKだよ！

R（RELAX）： リラックス（リラックスした気持ちで聴く）
→ このことは「あなたのことを一緒に考えていこう」という心のパワーがあることを相手に伝えることになる。

トレーニング②

- ・導入
アイスブレイク「人間知恵の輪」
- ・展開
トレーニング「アサーショントレーニング」
- ・終末
まとめを聞く
2日間のまとめ

「アサーショントレーニング」とは、自分も相手も大切にした自己表現を身に付けていくトレーニングです。

トレーニング②資料

あなたの断り方はどのパターンかな？
<ケース1>
試合前日のクラブの練習に向かう途中、友達に数学の勉強を教えてくださいと頼まれました。あなたは気がありません。

A：「どうして私に頼むの？ 誰か他の暇な子に頼んでよ。」
B：「ええ？・・・うーん。少しの時間なら・・・いいよ。」
C：「ごめん。今日は試合前なので、クラブの練習に参加したいんだ。練習が終わってからなら、教えてあげることができるんだけど。」

FELORとは、傾聴スキルを身に付けるための一つの方法です。



【いじめの未然防止に関わる本活動のメリット】

- ・友人づくりのきっかけとなった。
- ・実施後、親しげな言葉遣いとなり生徒同士の距離が縮まった。

○ コミュニケーションとは相互のやりとりであることを学ぶことにより、日常生活の中で互いを大切にできる気持ちについて、考えるきっかけとすることができています。

○ 高校生活のスタート時期に、具体的なコミュニケーションの方法を体験したことにより、生徒が今後の学校生活に生かすことができています。



「主な活動（概要）」（高等学校）

【学校名】北海道釧路東高等学校
【活動の名称】 宿泊研修
【活用した資源】地域施設（阿寒湖温泉・ニュー阿寒ホテル）
【対象学年と活動の時期】1年生 入学時

（項目ア—観点②絆づくり）

【活動の概要】

- ・阿寒湖畔のニュー阿寒ホテルで1年生の宿泊研修を実施する。
- ・高校生活のオリエンテーション、学級開き、レクリエーションを行う。

【ねらい】

- ・入学直後に、通常の学校生活とは違う空間において学年単独で活動することで、指導内容をより深く浸透させるとともに、学年内・クラス内の望ましい人間関係の形成を効果的に進める。
- ・阿寒湖畔の自然や地域施設等の恵まれた環境の中で時間を共有することにより、高校生活に対する肯定的で前向きな姿勢を育成する。

【活動の流れ】

- ①宿泊研修検討委員会や学年が中心となり計画・準備を進める。〈教師〉



〈ニュー阿寒ホテル〉



〈まりむ館〉



〈アイヌコタン「イコロ」〉

- ②教務部・進路指導部・生徒指導部・生徒会指導部より学校生活のオリエンテーションを行う。〈教師〉
- ③構成的グループエンカウンター（担当：ネイバル厚岸）を行う。〈地域のみなさん〉
- ④学級開き・レクリエーションに向けてのクラス討議を行う。
- ⑤学年レクリエーションを行う。
- ⑥アイヌコタン「イコロ」での芸術鑑賞に参加する。



〈②オリエンテーション〉



〈③グループエンカウンター〉



〈④学級開き・クラス討議〉



〈⑤学年レクリエーション〉



〈⑥芸術鑑賞〉

芸術鑑賞 ～人形劇～
「ふんだりけったりクマ
神さま」
アイヌ民族の世界観をユ
ーモラスに描いた作品

【いじめの未然防止に関わる本活動のメリット】

- ・クラス内の人間関係の構築が早い段階で自然に進み、それぞれの居場所や絆ができた。
- ・入学直後に、通常の学校生活とは違う空間において学年単位で行うことで、指導内容をより深く浸透させるとともに、学年内・クラス内の人間関係の構築を効果的に進めることができた。
- ・本校での高校生活に前向きに取り組む姿勢が育成されることで、日々の生活が充実し、高校における教育活動に積極的に取り組むとともに、周囲に対する否定的な言動の抑止につながった。

- 構成的グループエンカウンターやクラス討議、レクリエーションを効果的に関連付けたことにより、学年及び学級のよりよい人間関係づくりに向けて、よいスタートとすることができています。
- 新年度の早い段階で交流を深める機会をもつとともに、本活動後も年間計画に基づき1年を通じた取組を計画的に推進することで、人間関係づくりを一層効果的に行うことができています。



「主な活動（概要）」（高等学校）

【学校名】北海道根室西高等学校
【活動の名称】 宿泊研修
【活用した資源】 ・北海道立青少年体験活動支援施設 ネイパル厚岸 有限会社伊藤畜産（明郷 伊藤牧場）
【対象学年と活動の時期】1年生 4月

（項目アー観点①居場所づくり）

【活動の概要】
・2泊3日の宿泊研修を行う。

【ねらい】
・高校での学習や生活を理解し、今後の高校生活に生かす。
・規律ある集団生活を体験する。
・融和と協調の精神を育てる。
・学級や学年の連帯感を養う。

【活動の流れ】
①ネイパル厚岸職員による「人間関係づくりの活動」
②高校での学習、生活、進路についての講話
③レクリエーション（ドミノ、キャンドルサービス）
④火起こし体験～野外炊飯
⑤校歌指導
⑥酪農に関する講演
⑦伊藤牧場での酪農体験

《講話の内容》
学習
・評価の仕組みや進級の条件
生活
・身だしなみの大切さ
・高校からの新たなスタートの意識付け
進路
・就職と進学について
（先輩の声をもとに）

活動の風景



《人間関係づくり》
バースデーチェー
ンなどの活動を通し
て、コミュニケーション
スキルトレーニング
を行いました。



《ドミノ》
クラスでデザイン
を考えドミノにチャ
レンジしました。ク
ラス全員による協同
作業で連帯感が生ま
れました。

＜人間関係づくりの活動＞

＜レクリエーション＞



＜伊藤牧場での酪農体験＞

《酪農体験の感想》
・牧場で牛や羊などの動物と触れ合い、子牛であっても、ミルクを吸う力強さに生命力を感じた。製品となった牛乳からは感じる事のない自然の恵みを感じ、改めて感謝の気持ちをもった。
・実際に牛に触ると、おとなしくて、何より温かかったです。この温かさが生きている証であると思った。生命の尊さを感じ、自分だけではなく、他の命も大切にしていきたいと思った。

【いじめの未然防止に関わる本活動のメリット】
・地元への愛情が感じられる発言が多く聞かれるようになった。
・働くことの意義や大切さなどについて理解を深めるとともに、様々な場面で仲間と協力することができるようになった。

- 地域のよさを理解する学習において、体験したり、生徒が自分にできることを考えたりすることで、自己有用感を育むことができています。
- 実際の動物との触れ合いを通して、生命の尊さを感じるにより、「いのちの大切さ」について考える機会とすることができています。



「主な活動（概要）」（高等学校）

【学校名】北海道根室西高等学校
【活動の名称】 デートDV防止講座
【活用した資源】駆け込みシェルター釧路
【対象学年と活動の時期】2年生 5～6月

（項目エー観点②絆づくり）

【活動の概要】
・駆け込みシェルター釧路より講師を招き、講演と演習を行う。

【ねらい】
・デートDVとはどのようなものか理解する。
・相手の気持ちを理解し思いやる言動について考える。

【活動の流れ】
①デートDVとはどのようなものか（講演）
②生徒、教師のロールプレイングによるデートDVの具体例（演習）
③どのようにすればデートDVを予防できるのか（講演）
④生徒、教師によるロールプレイングの改善例（演習）
⑤ロールプレイングの振り返りとまとめ
⑥実際に被害に遭ってしまった場合や相談を受けた場合の対処について（講演）

○講演の内容

メインテーマ
「お互いの人権を尊重し合って自分も相手も Happy 的な関係になるには」
・人権の説明
・DV（ドメスティックバイオレンス）とは何か

○デートDVとは、交際中の若いカップルの間で起こる暴力のことです。

○暴力には
・身体的な暴力 ・精神的な暴力
・経済的な暴力 ・性的な暴力 などがああります。



＜講演の様子＞



＜ロールプレイングの様子＞

○生徒の感想

・男子も女子も互いを理解し、尊重することが大切だと思った。
・日常的に何気なく使っている言葉も、雰囲気や使い方によっては、デートDVになってしまうと思いました。常に相手を思いやる言動を心掛けたいと思った。

【いじめの未然防止に関わる本活動のメリット】
・男子生徒が女子生徒をいたわる様子が、様々な場面で見られるようになった。
・学校祭などの学校行事で、男女が協力して活動できるようになった。

○ 講演と演習、振り返りを効果的に組み合わせたことにより、学習への興味や関心を一層高め、ねらいを達成することができています。
○ ロールプレイングを行うことにより、生徒が日常生活において、解決の必要がある身近な問題であるという理解を一層深めることができています。

